

■米国：下院議会、C&T と RPS を含むエネルギー法案の原案を公表

下院エネルギー商業委員会の H.ワックスマン委員長（民主党、カリフォルニア州）およびエネルギー環境小委員会の E.マーキー委員長（民主党、マサチューセッツ州）は 2009 年 3 月 31 日、キャップ&トレード（C&T）および RPS が盛り込まれたエネルギー法案の原案を公表した。C&T については、温室効果ガス排出量を 2005 年比で 2020 年までに 20%、2050 年までに 83%削減することを目標としている。排出枠の価格高騰対策としては、無制限のバンキング、ボローイングに加え、排出枠の戦略備蓄（排出枠価格が一定以上になった場合に、備蓄してある排出枠を追加的にオークション販売にかけること）を認めている。年間最大 20 億トンの国内外のオフセットも認められているが、オフセット 5 トン分は、4 トン分のクレジットとして換算される。排出枠の配分方法は明確に示されておらず、今後、議論される見込みである。RPS は 2025 年までに 25%を再生可能エネルギーで賄うことを目標としている（義務量の 20%は省エネによる達成も可）。このほか、火力発電所で発電した電力に対して課金し、収入を CCS 開発・促進に充てる案も盛り込まれている。エネルギー法案は今後、エネルギー環境小委員会で 4 月 27 日、エネルギー商業委員会で 5 月 11 日の週に審議が開始される予定である。